

## 第5回 堺市公共事業評価監視委員会 議事要旨

1 日 時：令和元年12月27日（金）午前9時30分～午前11時15分

2 場 所：堺市役所 高層館20階 第1特別会議室

3 出席者：出席者名簿のとおり

### 4 議 事

#### (1) 開 会

#### (2) あいさつ

○ 中辻建設局長挨拶

#### (3) 委員並びに堺市出席者紹介

#### (4) 事務局説明

○ 審議事項

今回は、再々評価の案件が1件、再評価の案件が1件。

#### (5) 対象事業の説明

各審議対象事業について、各事業課から審議対象事業説明資料に基づき、対象事業の概要と市の評価の説明を受けた。

#### (6) 審議

各審議対象事業についての委員からの質疑及び意見と市の答弁の概要は次のとおりである。

### ① 大和川圏域総合流域防災事業（狭間川）【再々評価】

（田中委員）

平成29年10月の台風21号で被害を受けた箇所はどのあたりですか。

（河川水路課 久枝）

西除川との合流地点である、JR阪和線浅香駅周辺です。

（田中委員）

時間雨量はどのくらいだったのでしょうか。

（河川水路課 久枝）

約17ミリです。

（田中委員）

大した雨量ではなかったが、被害が出たということなのでしょうか。

（河川水路課 久枝）

この被害は狭間川からの溢水によるものではなく、内水被害によるものでした。

（上甫木委員）

整備断面について、河床を深く掘ることで、西除川、大和川へは上手く流れるのでしょうか。

（河川水路課 濱上係長）

河床勾配を下流に合わせて、流れるように計画しています。

（上甫木委員）

この整備は基本的に流量を増やすための整備ということでしょうか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。

(上甫木委員)

流域内にある金岡公園や学校の校庭などで遊水機能をもたせるということが考えられますが、本計画との整合性はどうなっていますか。

(河川水路課 濱上係長)

下水道部の雨水貯留施設などを加味した上で計画しております。

(上甫木委員)

高齢者が多くなっていることを受けて、避難誘導などの対策はどう考えていますか。

(河川水路課 濱上係長)

現在狭間川において、想定最大規模の浸水想定区域図の作成を進めています。危機管理部局において、その内容をハザードマップに反映することにより、避難行動を促進するソフト対策をハード整備と併せて進めています。

(上甫木委員)

この事業とは別で進めているということでしょうか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。

(堀野委員)

確認ですが、浸水想定範囲の解析を行う際には、この川の整備効果だけでなく、他の遊水機能などを考慮した結果を反映しているということでしょうか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。

(堀野委員)

事業進捗について基本的なことですが、今回評価するのは事業区間 L=1.15 km の区間でいいですか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。

(堀野委員)

河床掘削の深さはどのくらいですか。

(河川水路課 高橋主査)

約 1.5m です。

(堀野委員)

発表の中で浸水程度の目安が強調されており、これが事業目標かのように勘違いしてしまおうですが、あくまで事業の目標としては 10 年確率降雨で溢水が起こらないようにするということがいいですか。

(河川水路課 久枝)

10 年確率降雨への対応と 100 年確率降雨（時間雨量 80 ミリ）で人的被害が起こらないということを目指しています。

(堀野委員)

ここからが重要なのですが、内水被害の方が問題です。内水への対応がしっかりしていれば、河道にそれほど影響は無いと考えています。そのあたりはこの解析で考慮されている前提でいいですか。

(河川水路課 濱上係長)

内水被害の問題について理解し、計画に考慮しています。

(深堀委員)

費用便益比の算出に用いている維持管理費はどのようなスパンで計上していますか。

(河川水路課 久枝)

治水経済調査マニュアルに基づき、建設費用の 0.5%/年で、その金額は整備完了後 50 年分の費用を足しこんでいます。

(深堀委員)

工事業者が足りないなど、業者手配での懸案事項はありますか。

(河川水路課 高橋主査)

現場監督を担当する中で、施工業者や交通誘導警備員の人手不足が重大な課題であると感じています。特に河川工事は渇水期間限定の施工になるため、工事を着実に進めるための人材の確保が重要です。しかし現段階で、入札不調などの問題は発生していません。

(深堀委員)

入札は単年度ごとに行うのですか。

(河川水路課 高橋主査)

はい。

(上甫木委員)

個票(その2)の自然環境等への影響と対策について、遊歩道整備とは具体的にどの部分で行うのですか。

(河川水路課 高橋主査)

現場東側にある約5mの河川敷で、本工事で既存のキョウチクトウを撤去したスペースを利用し、地域の方々の意見を聞きながら、遊歩道の整備を検討しています。

(上甫木委員)

そこから直接河川を見ることができる、見て楽しむ河川ということで、それに対する配慮は何か考えていますか。

(河川水路課 高橋主査)

狭間川が金岡公園の横にあるということで、公園利用者等が河川と公園の景観を楽しめるような空間づくりを検討しています。

(上甫木委員)

河川整備自体は流下機能を確保しなければならないということは重々承知しているが、自然への配慮や日常的に見て楽しむ空間として、地元の方々と協議の上、積極的に考えてもらえればと思います。

(田中委員)

個票(その2)で、再評価時点の総費用約7.2億円が、現時点で約9.4億円になっているが、これはどのような事情によるものですか。

(河川水路課 久枝)

再評価時点の総費用約7.2億円は、現時点での総費用約9.4億円を現在価値化することで、5年分を前倒した状態として計算した結果です。現在価値化の影響によって変化しているように見えています。

(田中委員)

実質的に工法が変わったなどの事情はないということですか。

(河川水路課 久枝)

ありません。

(内田会長)

確認ですが、再評価時点での評価基準年度が平成26年、それが現時点では平成31年度となっており、その5年分を割引いているということでしょうか。

(河川水路課 久枝)

はい。

(内田会長)

他に意見が無いようでしたら、審議に移ります。

事業一覧表と個票(その2)の自然環境等への影響と対策について、書きぶりがわかりにくい。ある影響に対しての具体的な対策を書くべきである。具体的には河川敷において、キョウチクトウが茂っていて防犯上よくない状況であったものを整備し、水に親しめるようなものにしたということであるが、ここの表現を改めたほうが良い。せっかく良いことをしているので、もっと積極的にアピールしてみてもいいですか。

(河川水路課 濱上係長)

表現を改めます。

(上甫木委員)

現況が歩ける状態になっていて、そこにキョウチクトウが植えられているのですか。

(河川水路課 高橋主査)

キョウチクトウが生い茂っており、人が歩ける状態ではありません。防犯上と書いているのは、付近の小中学校の通学路が隣接しており、児童が引き込まれることを防ぐという防犯環境の整備の観点で書いています。

(上甫木委員)

遊歩道の整備はこの事業で実施するのですか。

(河川水路課 高橋主査)

この事業の中でキョウチクトウを撤去し、その後住民の方々の意見を取り入れ遊歩道整備につなげていきます。

(上甫木委員)

「河川を直接見ることができる」というのはやや短絡的な書き方に感じます。対策の部分は、今後住民の方と協議をしながら活用方策を考えていくということで、まだ結論は決まっていないということですか。

(河川水路課 濱上係長)

来年から住民の方の意見を聞きながら基本設計を進めます。

(内田会長)

確認ですが、この整備は関連事業であるとのことだが、予算も改修事業と同じなのですか。

(河川水路課 濱上係長)

別のものです。

(内田会長)

それであれば、改修事業とは切り離して書くべきではないでしょうか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。河川法に位置づけられる自然環境の保全の観点から書きました。

(堀野委員)

撤去まではこの改修事業に含まれているということなので、遊歩道の整備は別事業であるということを明確にして書くべきです。

(深堀委員)

話が戻りますが、再評価時点と現時点で、総費用と同じく総便益も増えていますが、これも評価基準年度の違いによるものということでしょうか。

(河川水路課 久枝)

はい。

(深堀委員)

それであれば、一般の方が見ると単に上がっているとしか思えないので、その理由を明記しておくべきであると考えます。

(内田会長)

この点に関しては、評価基準年度が異なるという点を明記してください。また、便益については事業が前倒しになっている効果も出ているのではないですか。

(河川水路課 久枝)

はい、事業が4年前倒しとなっている効果も含まれています。

(内田会長)

このことは、個票の特記すべき事項に書いたほうがいいと思います。ただし、事業の前倒しの効果だけで便益が増えたのではないので、過剰にならないように工夫して書いてください。

また、4年前倒しの理由が、個票には見当たりません。国の緊急対策によるものであることを課題やその他特記すべき事項の欄に書いてください。

(堀野委員)

少し本質とずれるかもしれませんが、最近の災害が契機となり、国からの補助が出ていると思いますが、現在、市が整備を予定している河川はこの他にもあるのですか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。準用河川もあります。狭間川の事業が終わればそちらへ移行していきます。

(堀野委員)

では、現在整備中の河川は狭間川だけですか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。その他の準用河川も整備に向けた準備はしています。

(堀野委員)

今の状況で狭間川の事業に国からの補助を全額つぎ込むことの是非はどうか。例えば、準備中の事業には適用できないなど、国の制度に何か制約があったのかもしれないですが、現在、予定している事業を前倒しすることは可能だったのですか。また、なぜ今の状況になっているのかを簡単に説明してください。

(河川水路課 濱上係長)

国の3か年緊急対策にかかる補助については、国からの一定の条件があり、この狭間川改修事業がその条件に合致したということです。

(堀野委員)

国からは個別事業で判断され、準備中の事業には国からの補助を受けることはできないということですか。

(河川水路課 濱上係長)

はい。

(内田会長)

内水ハザードの検討についても、条件が合えばこの事業で実施したかったという部分もあるのですか。

(河川水路課 濱上係長)

内水については下水道部の方で整備を進めています。その将来計画も反映した内容で計画し、事業を進めています。

(内田会長)

他に意見が無いようでしたら評価に移ります。

結論として、本事業は継続とし、特段の意見はなしとします。資料については一部修正してください。

## ② 都市計画道路 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）【再評価】

(田中委員)

池のところの用地買収は進んでいますか。

(道路計画課 根兵課長)

境界確定等を進めています。

(田中委員)

団地の部分は進んでいますか。

(道路計画課 根兵課長)

団地の部分はURと協議中であり、それ以外の農地の部分についても、順次進めています。

(田中委員)

イメージ図の角地の部分は、今、建物が建っているのではなく、道路が出来上がったなら、何か建つだろうというイメージですか。

(道路計画課 根兵課長)

あくまでもイメージです。

(上甫木委員)

当然必要な道路であるということはわかるのですが、URのところを分断することになり、生活圏域の分断によるマイナスの影響が地域におよぶことについての配慮はどのようにされるのですか。

(道路計画課 根兵課長)

新しい街路をつくる場合には、ついて回る課題であり、住んでいる方の意見を聞いていく、高架下の有効活用を含めて、今後、検討して行きたいと思います。

(上甫木委員)

このようなイメージ図を見せられると一人歩きする懸念があります。

(道路計画課 根兵課長)

そのあたりはしっかり説明していきます。

(深堀委員)

事業費の進捗状況が1%とあるが、事業完了まで、あと7年しかないが、そのことについては、どのように理解すればいいのですか。

(道路計画課 根兵課長)

現状、工事費とは設計費のみであり、具体の工事には着手していない状況であり、今後工事が始まれば事業費が必要になります。用地費についても戸建ての住宅を中心に取得しており、今後、大規模な用地に取り組んでいく予定です。

(深堀委員)

今、一番難しいところを終えたというイメージですかね。手間のかかるところを終えたということで、費用的にはまだ進んでいないというところですか。

(道路計画課 根兵課長)

用地買収を戸建ての部分から進めたというのは、工事の進入路を確保するという意味合いもあります。金額的には1%だが、今後費用も徐々に増加していくと思います。

(深堀委員)

計画的には、令和8年度というのは、現実味があるのでしょうか。

(道路計画課 根兵課長)

今の段階で、無理ですというのはまだ早い、頑張る余地はあります。現段階で、用地交渉で難航しているところもないので、令和8年度の事業完了を目指して行きます。

(堀野委員)

工事は3年もあれば完成すると思うが、問題は、用地買収と思う。平成31年3月末で21%ということだが、それ以降の進捗は。

(道路計画課 鹿室係長)

今年度の用地取得につきましては、引き続き交渉を行っており、用地部より内諾を得ている箇所が1、2件あると聞いています。今年度は、主に測量を行っており、測量が終われば用地交渉に入っていくことになるので、事業としては順調に進んでいると考えています。

(堀野委員)

ため池は埋め立てるのですか。

(道路計画課 根兵課長)

道路に係る部分については埋め立てます。水利的にも問題はありません。

(堀野委員)

ため池は共有地ですか個人の所有ですか。所有者は特定出来ていますか。

(道路計画課 鹿室係長)

共有地であり、所有者も特定出来ています。

(内田会長)

一覧表の事業の置かれている状況（現状での課題）が特に無しとなっているが、ほんとうにあと7年でできるのか。再度確認ですが、用地取得に関しては個々の小さい宅地は残ってなくて、あとは比較的大規模なところが残っているだけですか。

(道路計画課 根兵課長)

宅地につきましては、ほぼ完了しており、農地関係が残っています。工事は用地買収が終わったところから順次行っていきます。現道の堺富田林線からの進入路部分が確保出来ているので、そこから工事に着手できます。流れとしましては、池の方は空き地があるのでそちらから先行して、工事に着手していくことになると思います。

(内田会長)

池の部分に関しては、権利者も明確なので大丈夫と思いますが、オーバーパスで工事したときにURの団地側は、パースを見ると、横断するのが、大変な場所だと思うがURとはどのような交渉を行っているのですか。

(道路計画課 鹿室係長)

URとは用地取得に向けて協議を進めている状況で、URの住宅の管理部門、施設の管理部門、用地の管理部門等多岐にわたるセクションと協議を進めており、URが課題整理をしている段階です。

(内田会長)

URのリノベーションは並行して動いているのですか。

(道路計画課 鹿室係長)

駐車場等の整備工事を進めていると聞いています。

(内田会長)

建物の配置は変わりませんか。

(道路計画課 鹿室係長)

変わるとは聞いていません。

(内田会長)

住民の住環境が変わるので、慎重に進めなければいけないと思いますが。

(道路計画課 根兵課長)

URは全面的な建て替えではなく、一部を民間に売却する方向で進めているようです。

(内田会長)

UR側の集約化の方向ですよね。

(道路計画課 根兵課長)

今の方針では駅に近い側に集約する計画と聞いています。

(深堀委員)

近くに小学校があるが、通学路の配慮はどうなっていますか。

(道路計画課 坂口係長)

通学路は高架道路の下をくぐるようになります。その部分の安全対策については、小学校から要望されています。まだ、橋脚の位置も決まっていないので、今後詰めていきます。

(内田会長)

交通量の多い車道を横断する危険性はないが、高架下であれば、別の安全対策が必要になるのでその点も詰めてください。

(内田会長)

次に個票については、費用対効果においては、計画時の想定は2つの区間に分けて算定しているので、直接的に比較できないがそれはやむを得ないと思います。

(田中委員)

自然環境等への影響と対策の項目でCO2の削減というプラスのことしか書いていないが、道路ができる騒音の問題あると思います。

(道路計画課 根兵課長)

騒音については、渋滞時の低速時の騒音が減り、大型車もスムーズに走行できると騒音が下がることとなります。ただ、新しく道路ができた周辺の住民の方には、騒音が気になることとなります。

(田中委員)

便利な道路ができれば交通量が多くなるので、実際考えていたよりかなりの負担になるのでは。

(道路計画課 根兵課長)

新しくできる道路であるので、良いところ、悪いところあるが、沿道住民には、その点を含めて説明していきます。

(堀野委員)

費用便益分析に評価基準年を入れてほしい。

(内田会長)

最後にまとめさせていただくと、色々意見は出ましたが、社会的意義がある事業であることは理解できると思いますので、委員会として、本事業は継続とします。また、意見の追加等についても、付帯意見はなしとします。

今後は、確実な進捗にご尽力いただきたいと思います。

委員会の資料については、個票の費用便益分析に評価基準年を追加してください。

#### (7) 総括と意見具申

「大和川圏域総合流域防災事業（狭間川）」、「都市計画道路 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）」ともに事業継続の判断をし、以下に示す意見を付す。なお、本委員会における意見について、とりまとめを行い、各委員に確認後、具申書として、市長に提言することとする。

##### ① 大和川圏域総合流域防災事業（狭間川）【再々評価】

- ・「再々評価個票」や「再々評価審議対象一覧表」に記載されている自然環境等への影響と対策について、現状ある影響に対する具体的な対策を明記し、遊歩道の整備については、別事業で行う旨を明記していただきたい。
- ・「再々評価個票」に記載されている再評価時点と現時点における B（総費用）や C（総便益）について、評価基準年度が異なることによって計算結果が異なることがわかるように明記していただきたい。
- ・防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策によって事業の前倒しを行ったことを「再々評価個票」に明記していただきたい。

##### ② 市計画道路 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）【再評価】

- ・委員会の資料については、個票の費用便益分析に評価基準年を追加していただきたい。

#### (8) 閉会